

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

NEWS健診だより

第4号

2020年1月1日
発行

NEWS健診だよりは、緊急作業に従事された方々の健康サポートのため、実施された健康診断結果等に基づくご報告や放射線の健康影響に関する研究活動の進捗などについて年1回お届けしております。



Photo: 長岡花火大会

日本三大花火の一つに数えられ、慰霊・復興・平和への祈りを込めた花火大会です。開花幅約650mの超大玉「正三尺玉」と6か所の打ち上げ場所から打ち上げられる「復興祈願フェニックス」が有名。毎年8月2・3日に信濃川の河川敷で行われる花火大会で、2019年は過去最高の108万人が鑑賞した。

■写真協力: 新潟県労働衛生医学協会



目次

- P1 ご挨拶

- P2 調査研究への参加状況 & 健診の進捗状況

- P2 第1期研究参加者へのご案内

- P3 NEWS健診項目について

- P4 令和元年度における健診の流れ

- P5 動画によるNEWS健診のご案内

- P5 産業医Tのほっとタイム

- P6・P7 多項目健診協力機関MAP

- P8 ナースKの知っ得 Vol.3

- P9 NEWS健診だより第3号 読者アンケートまとめ

- P10 Q & A 健診受診に関してよくある質問

ご挨拶

『NEWS健診だより』は、東電福島第一原発の緊急作業に従事された皆様に、この調査研究の参加状況や各種の情報を直接お届けすることを目的に2016年9月に創刊されました。本年、発行時期は遅れてしまいましたが、おかげさまで第4号をお届けすることとなりました。

本研究は1期5年間という構想で、2015年の開始以来、満5年が経過し、今年度から2期目に入ったところです。この間にみなさまの健康管理を進めるため健診機関の全国組織を作りました。そして、19,808人すべての方々へ手紙を送るなどの方法で研究参加を呼びかけてきました。その結果、2018年度までの5年間に約7,000人の方々から研究参加の申し込みをいただき、そのうち約6,000人が健康診断にご協力いただきました。この7,000人という数値は、全体の約30%であり、疫学調査にとっては決して十分な数字ではありません。第1期に引き続きこの数値を増やす必要があり、これまでご回答をお寄せ頂いてない約7,000人の方々には、引き続きご協力を呼びかけてまいります。

第1期は仕組みづくりに予定以上に時間がかかり、研究に参加いただいた方々に1回の健診機会しか提供できませんでした。そこで、第2期では5年に1回、第1期なみの多項目健診を行い、その間の4年間は定期健診並みの簡易な健診を行うことにより、結果的に毎年1回の健康診断機会を設けることといたします。今後、研究が長期に及ぶと、個人別の健康情報が蓄積しますので、生涯にわたる健康情報に基づく健康指導や各人毎の健康情報をお届けする仕組みを作る用意をしているところです。

そのため、研究が軌道に乗った現時点で、恒久的に研究本部の任務を果たせる機関へ移動するのが望ましいということになり、今回2期目に入る機会に、厚生労働省の外郭団体である、独立行政法人労働者健康安全機構・労働安全衛生総合研究所へ研究本部を移転することとなりました。

長期にわたる継続調査により、これからは基盤となる健康情報の収集が進みますと、次第に膨大なデータを蓄積することとなります。最近では、企業における従業員の健康管理も、蓄積情報を活用した科学的な指導が指向されています。しかし、折角収集されたビッグデータも、定年退職後にはほとんど活用できていないのが実情です。一般に、高齢になるほど健康ニーズは高まるのですが、企業健康管理の延長線上では、退職後のケアを続けるのは難しいのが現状です。当研究班では全国に多数の協力機関を設置し、転職や転居などがあっても、さらに退職後も連続して、生涯にわたる健康支援を継続できる仕組み作りを目指しています。

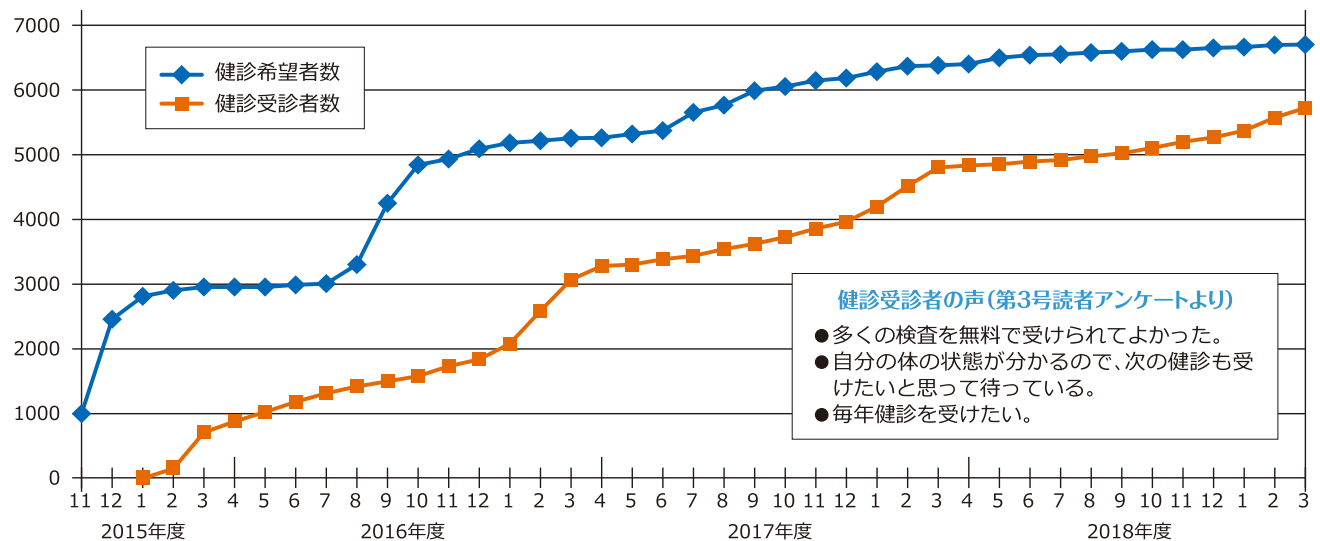
今後とも、本調査研究へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

労働安全衛生総合研究所
大久保 利晃

調査研究への参加状況&健診の進捗状況

2015年度より緊急作業従事者の皆様へ調査研究への参加をお願いして参りました。2019年3月末時点で研究参加者7,347名、健診希望者6,705名、健診受診者5,732名となりました。調査研究への参加、健診の申し込みはいつでも可能です。ご参加いただける方は、フリーダイヤル0120-865-618までお電話ください。

(研究参加者:健診希望者+健診受診は希望されないが研究協力の同意が得られている方、健診受診者:健診希望者のうち、すでに健診を受けられた方)



健診受診者の声(第3号読者アンケートより)

- 多くの検査を無料で受けられてよかった。
- 自分の体の状態が分かるので、次の健診も受けたいと思って待っている。
- 毎年健診を受けたい。

第1期研究参加者へのご案内

「ご挨拶」でも案内させていただきましたように、公益財団法人放射線影響研究所(放影研)は、第1期研究において、東電福島第一原発事故に伴う緊急作業に関わられた方を対象とした労災疾病臨床研究事業費による「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究(研究課題名「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究)」を実施してまいりました。この調査は、放射線による健康影響ならびにみなさまの健康管理を目的として、生涯にわたり長期的に継続する事業とされており、このたび、令和元年6月4日からは、第2期研究として、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所(安衛研)が当該研究の統括機関として継承することとなりました。



つきましては、みなさま方のご協力により第1期の研究で得られました貴重なデータを放影研から安衛研に移管し、引き続き今後の放射線被ばくの健康影響の検討に用いることに対して、ご理解を得たいと存じます。

なお、個人情報の取り扱いに関する同意書に基づくお約束は、第1期と第2期で変わらず継続いたします。もし、移管にご同意いただけない場合は、氏名、住所、郵便番号、電話番号、生年月日とご同意いただけない旨を記載し、安衛研宛に封書等でご連絡ください。安衛研より、研究協力の同意の中止請求書を送付させていただきます。ご不明な点がございましたら、以下の連絡先にお問い合わせください。

<p>NEWS研究本部 (安衛研)</p>	<p> フリーダイヤル:0120-865-618 (受付時間:平日9時~17時) ※「データの移管について」とお申し出ください。</p>
----------------------------------	--

NEWS健診項目について

4~5年に1回実施

多項目健診を
実施しない年に、毎年実施

多項目健診

血液検査

- 白血球 ●赤血球
- 血小板 ●肝機能
- 腎機能 ●尿酸
- 電解質(Na, K, Cl, Ca, P)
- 血糖 ●HbA1c
- 中性脂肪 ●総コレステロール
- LDL(悪玉)コレステロール
- HDL(善玉)コレステロール

A B型・C型肝炎ウイルス検査
(初回のみ)

B 甲状腺ホルモン検査
甲状腺抗体検査

C ビロリ検査(初回のみ)※

D 前立腺特異抗原(PSA)検査

尿検査

- 潜血 ●蛋白
- 糖 ●亜硝酸塩

E 喀痰検査

- 喀痰細胞診

F 便潜血検査

G 心電図検査

H 胸部X線検査

I 腹部超音波検査

J 甲状腺超音波検査

その他

- 問診 ●推定1日食塩摂取量

※2回目以降、胃X線検査又は胃内視鏡検査を実施

基本健診

血液検査

- 白血球 ●赤血球
- 肝機能
- 血糖 ●中性脂肪
- LDL(悪玉)コレステロール
- HDL(善玉)コレステロール

尿検査

- 蛋白 ●糖

G 心電図検査

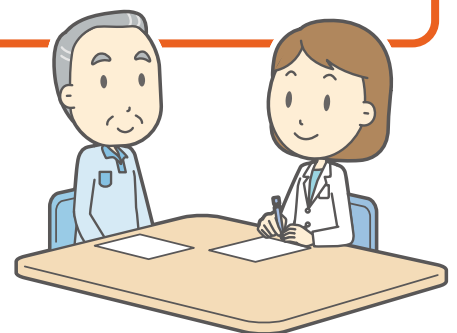
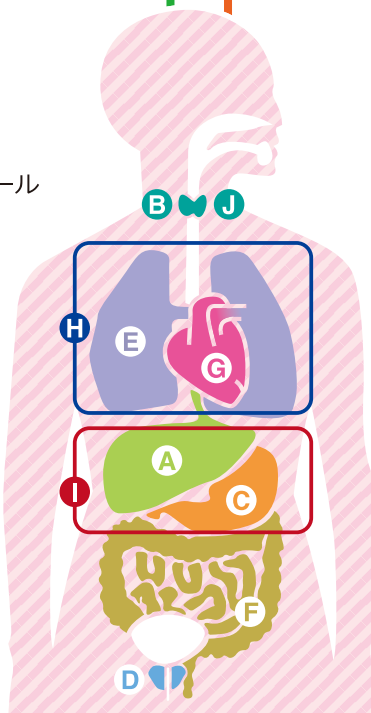
H 胸部X線検査

その他問診等

※喀痰検査は実施しません。

安衛則第44条と電離則第56条に基づく検査項目です。

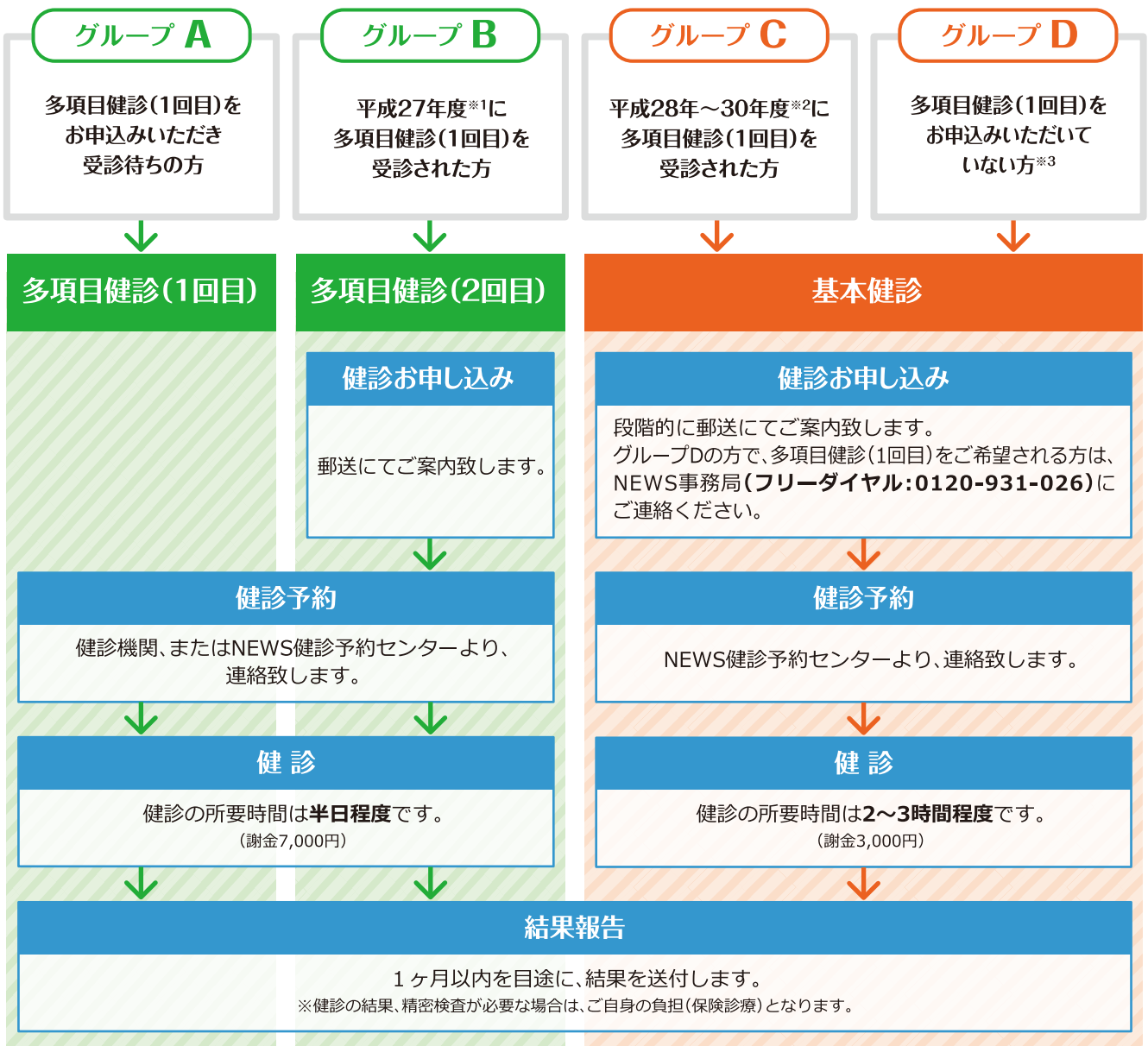
第2期研究に
追加した
健診の枠組み



チェック!

多項目健診 と **基本健診** を組み合わせれば、
毎年1回健診受診の機会があります。
ぜひご参加ください。

令和元年度における健診の流れ



令和2年度以降は、原則5年に1回毎に多項目健診を受診いただき、それ以外の年は、基本健診を受けていただくことになります。

※1: 平成27年1月～3月 ※2: 平成28年4月～31年3月

※3: これまでにウェブサイトからの参加登録又は郵送で研究参加を同意され、かつ健診に申し込まれていない方、及びこれまで一度も返信のない方はグループDになります。

参加意向及び健診のお申し込みについて

郵送でのお申し込み

健診参加意向調査回答紙に必要事項を記入し、ご返送ください。お手元がない場合はNEWS事務局へご連絡ください。フリーダイヤル 0120-931-026

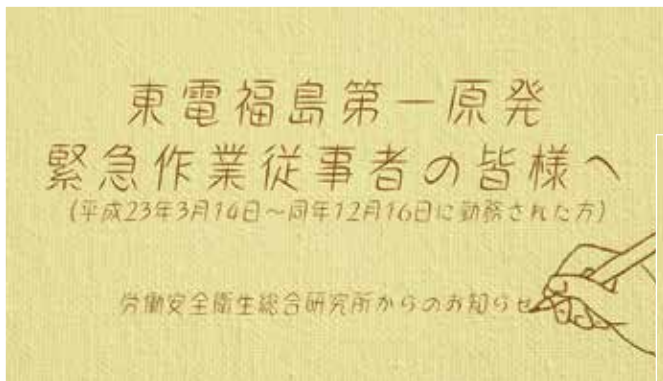
ウェブサイトからの申し込み

NEWS ウェブサイト [参加登録ページ](#)より健診をお申し込みいただけるようになります。
URL: <http://www.news.johas.go.jp/>

動画によるNEWS健診のご案内



NEWS健診に多くの方に参加いただけるようYouTubeによる健診ご案内動画を作成中です。今回、ほんの一部ですが、ご紹介いたします。詳しくは、2月中旬に安衛研NEWSのホームページ <http://www.news.johas.go.jp/> にアップいたします。



産業医Tのほっとタイム

働く人が健康管理を行うに当たって重要なことは、働きながら健康を維持することになります。従って、働くことに支障が出ないような、無理のない取り組みを行う必要があります。

食事の量を例としますと、米を1食に1粒ずつ減らしたとします。2食で2粒、3食で3粒と減っていき、1年間で1095粒(365日×3食)も減らすことができ、もし改善していなかった時と比べて、1年間で1粒+2粒+3粒+・・・+1095粒と合計すると、なんと598,965粒も減らすことができた計算になります。



これは単純な例ですが、少しずつの改善が大きな効果をもたらすことはご理解いただけるかと思います。食事に限らず、運動を増やすことや野菜の摂取量を増やすこと等、健康管理のための改善は様々あります。自分に合った改善を少しずつ継続して行い、辛くなってきたら無理せずそれまでの改善を維持することが大事です。

身体的・精神的・社会的な健康のために、働くことと元気でいることの両立に努めてください。



～緊急作業従事者の健康を生涯にわたりサポートするために～

多項目健診協力機関MAP

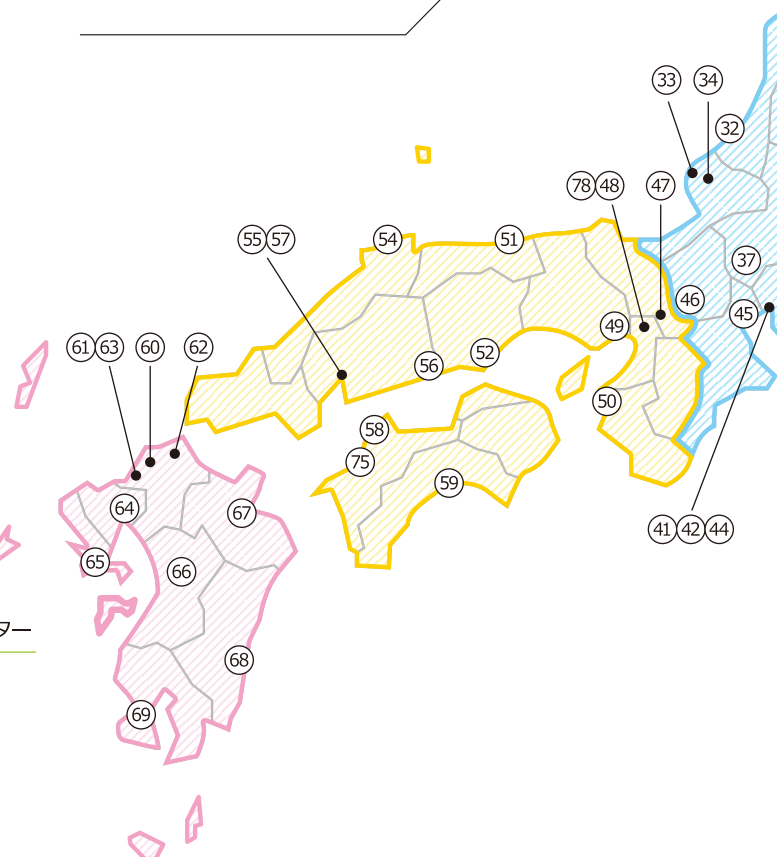
お近くの
健診協力機関で
受けられます!
※機関数拡大中

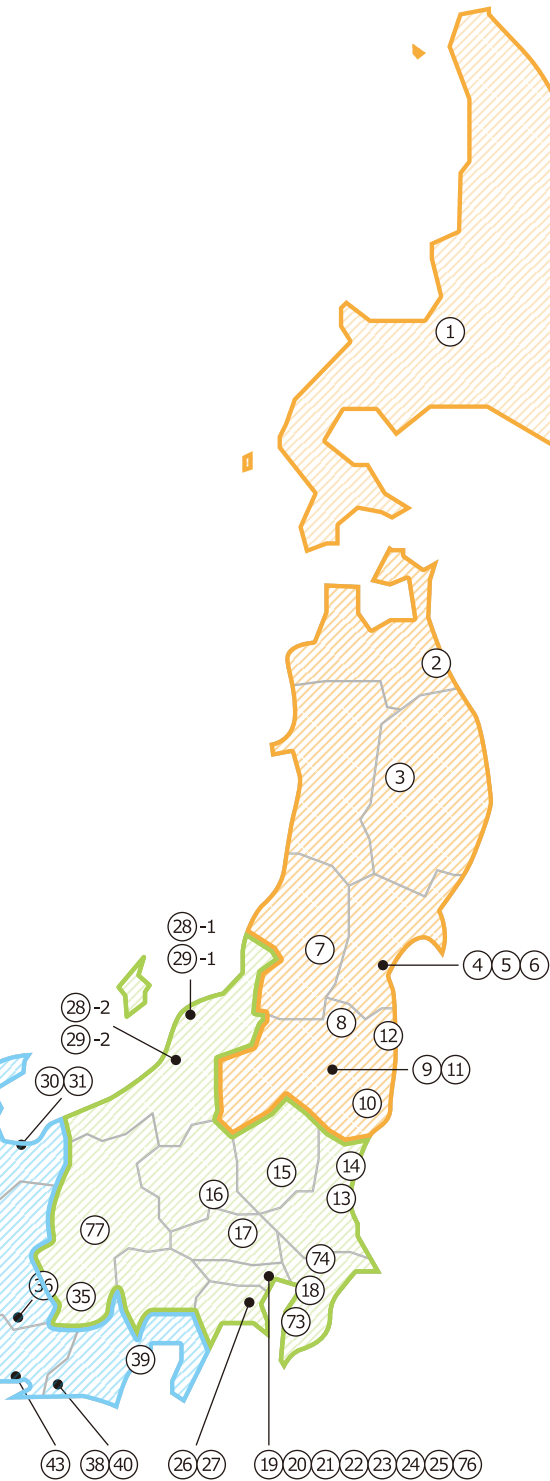
北海道・東北

- ① 北海道労働保健管理協会
- ② 八戸市総合健診センター
- ③ 岩手県予防医学協会
- ④ 杜の都産業保健会 一番町健診クリニック
- ⑤ 宮城県成人病予防協会 附属仙台循環器病センター 総合健診センター
- ⑥ 宮城県成人病予防協会 中央診療所
- ⑦ 日本健康管理協会 山形健康管理センター
- ⑧ 福島県労働保健センター
- ⑨ 星総合病院
- ⑩ 福島県労働保健センター いわき健診プラザ
- ⑪ 三春町立三春病院
- ⑫ 南相馬市立総合病院

関東・甲信越

- ⑬ 茨城県総合健診協会
- ⑭ 株式会社日立製作所 日立健康管理センタ
- ⑮ 栃木県保健衛生事業団
- ⑯ 日本健康管理協会 伊勢崎健診プラザ
- ⑰ 埼玉県健康づくり事業団
- ⑱ ちば県民保健予防財団
- ⑲ 君津健康センター
- ⑳ 聖隷佐倉市民病院健診センター
- ㉑ 健康医学協会 東都クリニック
- ㉒ 東京都予防医学協会
- ㉓ 日本予防医学協会附属診療所ウェルビーイング毛利
- ㉔ 同友会 春日クリニック
- ㉕ こころとからだの元気プラザ
- ㉖ 綜友会 高戸橋クリニック
- ㉗ 綜友会 第二臨海クリニック
- ㉘ 労働衛生協会 高井戸東健診クリニック
- ㉙ 神奈川県予防医学協会
- ㉚ 神奈川県結核予防会 中央健康相談所
- ㉛-1 新潟県労働衛生医学協会 プラーク健康増進センター
- ㉛-2 新潟県労働衛生医学協会 アクアレー長岡健康増進センター
- ㉜-1 健康医学予防協会 新潟健診プラザ
- ㉜-2 健康医学予防協会 長岡健康管理センター
- ㉝ 中部公衆医学研究所
- ㉞ 労働衛生協会 長野県支部 ほたるの里健診センター





- 北陸予防医学協会 高岡総合健診センター ③⑩
- 北陸予防医学協会 健康管理センター ③⑪
- 石川県予防医学協会 ③⑫
- 福井県労働衛生センター ③⑬
- 福井県予防医学協会 ③⑭
- ききょうの丘健診プラザ ③⑮
- ぎふ総合健診センター ③⑯
- 聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター ③⑰
- 聖隷福祉事業団 聖隷健康サポートセンター Shizuoka ③⑱
- 聖隷福祉事業団 聖隷予防検診センター ③⑲
- 愛知健康増進財団 ④⑰
- オリエンタル労働衛生協会 ④⑱
- 半田市医師会健康管理センター ④⑲
- 日本予防医学協会 東海事業部 ④⑳
- 三重県産業衛生協会 ④㉑
- 滋賀保健研究センター ④㉒
- 京都工場保健会 ④㉓
- 愛仁会 愛仁会総合健康センター ④㉔
- 日本予防医学協会 西日本事業部 ④㉕
- 兵庫県予防医学協会 ④㉖
- NSメディカル・ヘルスケアサービス ④㉗
- 中国労働衛生協会 鳥取検診所 ④㉘
- 淳風会 淳風会健康管理センター ④㉙
- 島根県環境保健公社 ④㉚
- 広島県集団検診協会 ④㉛
- 中国労働衛生協会 福山本部 ④㉜
- 放射線影響研究所 広島研究所 ④㉝
- 愛媛県総合保健協会 ④㉞
- 菅井内科 ④㉟
- 高知県総合保健協会 ④㊱
- 西日本産業衛生会 北九州産業衛生診療所 ④㊲
- 福岡労働衛生研究所 ④㊳
- 九州健康総合センター ④㊴
- 医療情報健康財団 ④㊵
- 佐賀県産業医学協会 ④㊶
- 放射線影響研究所 長崎研究所 ④㊷
- 熊本県総合保健センター ④㊸
- 大分総合健診センター ④㊹
- 宮崎県健康づくり協会 ④㊺
- 鹿児島県労働基準協会 ヘルスサポートセンター鹿児島 ④㊻
- 那覇市医師会 生活習慣病検診センター ④㊼

東海・北陸

近畿・中国・四国

九州・沖縄

機関の都合により、健診申し込みが出来ない場合もあります。



ナース K の知っ **得** Vol.3

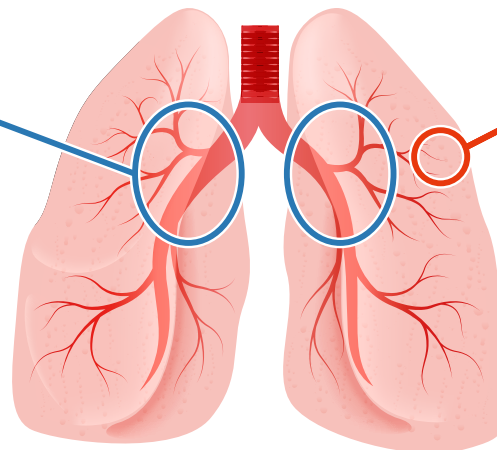
喫煙者だけの問題ではない！ みんなで肺がん検診を受けましょう。

2017年にがんで亡くなったのは約37万人。そのうち、肺がんは男性の1位(24.0%)、女性の2位(13.8%)で、男女合計では1位、約7万4千人(19.9%)でした。肺がんは早期ではほぼ無症状です。病状の進行とともに咳、痰、血痰、発熱、呼吸困難、胸痛など症状が現れることもありますが、肺がん特有のものはないため、症状から肺がんを疑うことは困難です。

肺がんの種類と特徴

肺門型(中枢型)肺がん

- **扁平上皮がん**
 - ・痰や血痰などの症状が現れやすい
 - ・喫煙との関連大
- **小細胞がん**
 - ・進行や転移が非常に速い
 - ・喫煙との関連大



肺野型(末梢型)肺がん

- **腺がん**
 - ・肺がんの中で最多
 - ・非喫煙者の女性で増加
 - ・早期では症状が出にくい
- **大細胞がん**
 - ・比較的まれ
 - ・進行や転移の速い場合あり

肺がんによる死亡を減らすには、**早期発見・早期治療が大切**なので、40歳以上の方は年に1回、肺がん検診をお受けください。国の定める肺がん検診は、胸部X線検査(40歳以上)と喀痰細胞診(50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人)です。**NEWSの健診では、年齢、喫煙歴を問わず、みなさまに胸部X線検査および喀痰細胞診検査**を受けて頂くことができます。

検査の結果、肺がんなどが疑われた場合は、できるだけ早く呼吸器専門医を受診して下さい。

参考文献: 国立がん研究センター がん情報サービス がんの冊子
人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部編)



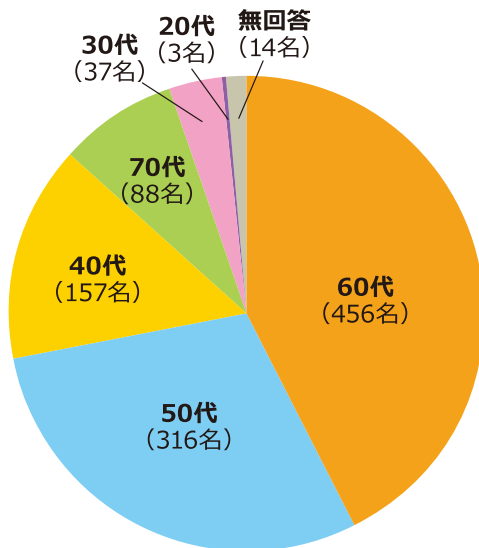
**喀痰細胞診検査で、喫煙者に多い扁平上皮がんを
見つけれられる可能性があります！**

NEWS健診だより第3号 読者アンケートまとめ

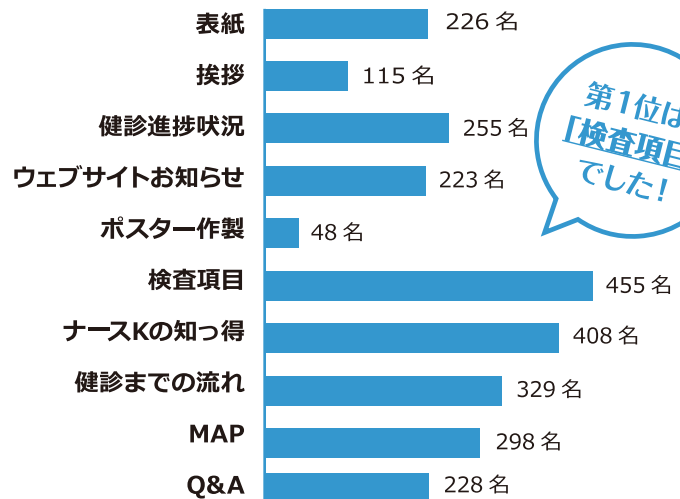
2018年9月に発行した「NEWS健診だより第3号」の読者アンケートに1,071通の回答を頂きました。ご協力いただき、まことにありがとうございました。回答結果の一部をご紹介します。



回答者の年代



良かった記事



第1位は、「検査項目」でした!

みなさまから寄せられたご意見・ご感想

- 健診の詳細や「ナースKの知っ得」など、「NEWS健診だより」で継続的に情報が得られて安心できる。内容も分かりやすく、健診を受ける気になった。
- 「NEWS健診だより」の発行を年2回にするなどして、もっとこまめに情報を発信して欲しい。この健診を受けた方の感想や意見等も掲載して欲しい。
- 今は勤務先で定期健診を受けているのでこの研究の健診には参加していないが、退職後はその機会がなくなるため、その際にはこの健診に是非参加したいと考えている。
- 震災事故後、時の経過とともに一般の方々の関心が薄れることを危惧している。本研究の取り組みに賛同し、仲間にも声かけをしてみようと思う。



みなさま方よりいただきました貴重なご意見・ご要望は、
今後の「NEWS健診だより」および調査研究の参考とさせていただきます。



Q&A 健診受診に関してよくある質問

Q: この研究に協力して健診を受けるメリットは何ですか？

A: 研究にご協力いただくことで、定期的な健診を継続して受けていただくことができます。その健診結果は、あなたの生涯にわたって研究本部に保管(研究参加の中止を希望された場合は責任をもって削除します。)されるので、長期間にわたる健康度のわずかな変化が分かり、あなたの健康管理に役立てることができます。

Q: 参加したいけど、健診等の費用は、全て無料ですか？

A: 健診は無料です。交通費に関しては、規定に基づき算出した最寄りの健診機関までの往復交通費および謝金をお支払いします。ただし、定められた健診項目以外の検査費用、健診の結果要精密検査となった場合は、自己負担(精密検査は健康保険の適用が見込まれます。)となります。

Q: 健診を申し込んだのになかなか連絡が来ないのはなぜですか？

A: ご迷惑をおかけしております。代表機関の移転があり、一時的に健診業務を休止せざるを得なくなりました。そのため、お待たせしておりました。また、再開してからも、健診機関の受け入れ時期や受け入れ枠に限りがあり、みなさまへのご連絡に時間がかかっております。随時改善して参ります。

Q: この健診を受診しても、会社の健診を受けなければなりませんか？

A: 会社の健診を希望しない場合には、NEWS健診結果を会社に提出していただければ、会社の健診は受けないことも可能です。

Q: 緊急作業従事者向けの健康相談や労災に関して相談できる窓口はありますか？

A: 厚生労働省では、緊急作業従事者向けの健康相談窓口と、放射線被ばくに係る労災補償や労災保険給付などの相談窓口を設けています。下記にお問い合わせください。

緊急作業従事者向けの健康相談

【TEL】 0120-808-609(※フリーダイヤル/全衛連本部)

相談時間 9:00 ~ 17:00(平日)

労災保険相談ダイヤル

【TEL】 0570-006031(※ご利用には通話料がかかります。)

相談時間 9:00 ~ 17:00(平日)

訂正とお詫び

「NEWS健診だより」第3号(2018年9月1日発行)に誤りがありました。

1ページ「NEWS進捗状況」のグラフ：【誤】健診受診希望者数 → 【正】研究参加者数

3ページ「NEWS健診の検査項目」：【誤】LHL(善玉コレステロール) → 【正】HDL(善玉コレステロール)

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご不明な点がございましたら、お気軽に下記研究本部へお問い合わせください。

東電福島第一原発緊急作業従事者コホート

「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究(NEWS)」お問い合わせ先(土曜、日曜、祝日を除く午前9時から午後5時)



〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究(NEWS研究本部)

フリーダイヤル

0120-865-618

E-mail

newstudy@h.jniosh.johas.go.jp

代表TEL

TEL 044-865-6111

ウェブサイト

http://www.news.johas.go.jp/